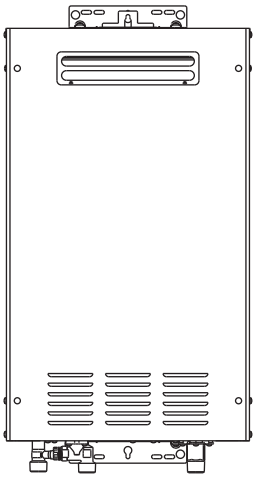
パロマ
ガス瞬間給湯器

PH-32BLX-M

保証書付



取扱説明書

このたびは、ガス瞬間給湯器をお買い上げいただきありがとうございます。

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。
また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。

●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。

●「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くのパロマまでお問い合せください。

Paloma

もくじ

はじめに

各部のなまえ・・・・・・・・・1
必ずお守りください・・・・・3
準備と確認・・・・・・・・・8

使いかた

お湯の出しかた・・・・・・・9

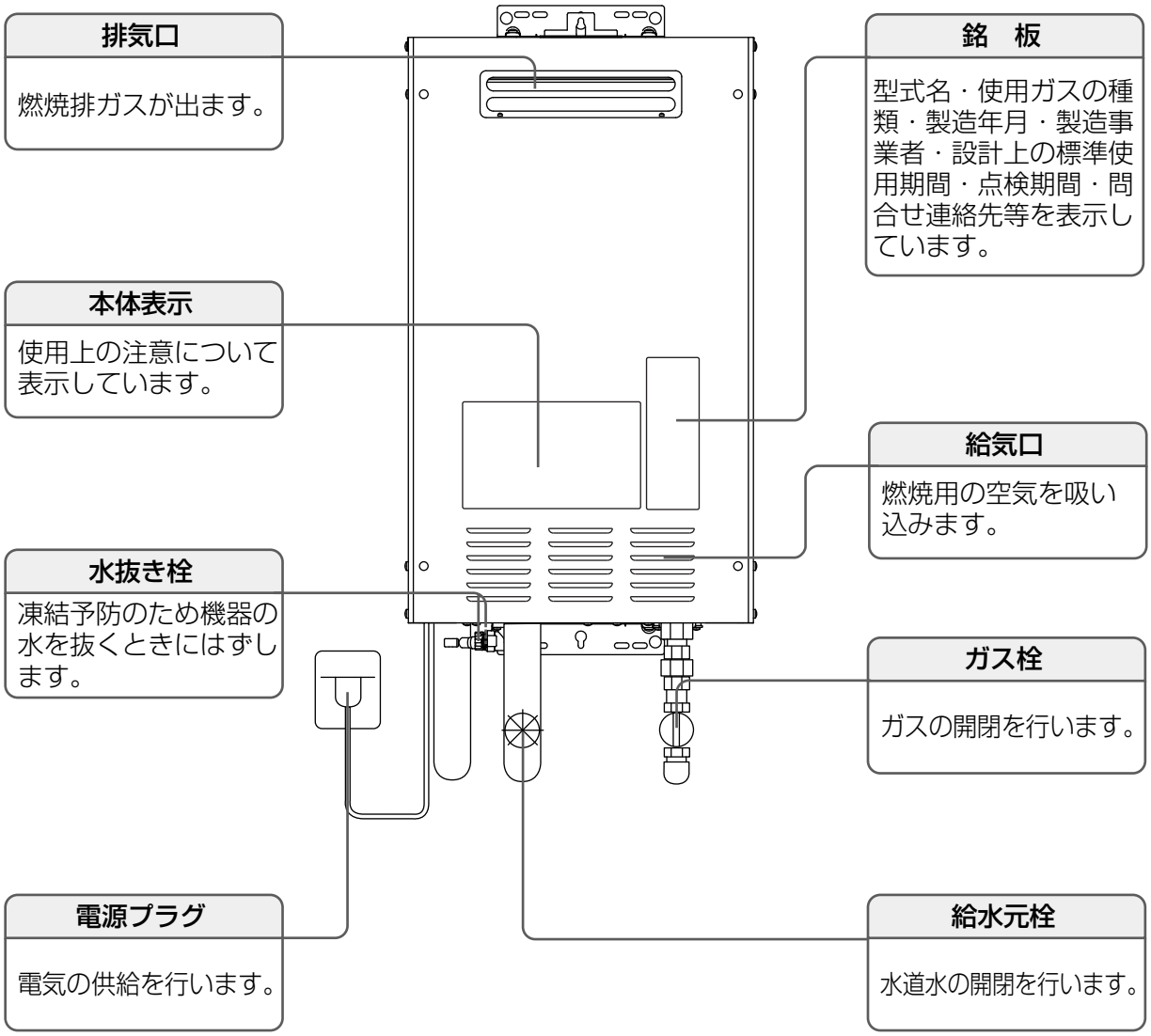
上手に使って長持ちさせるには

点検とお手入れ・・・・・・・11
故障かな？と思ったら・・・・12
凍結を防ぐには・・・・・・・14

仕様/アフターサービス

仕　様・・・・・・・・・・・16
保管とアフターサービス・・・17
保証書・・・・・・・・・・・18

各部のなまえ

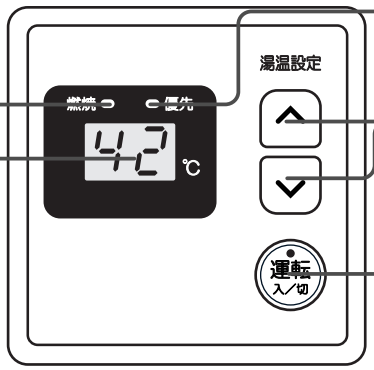

排気口
燃焼排ガスが出ます。
本体表示
使用上の注意について表示しています。
水抜き栓
凍結予防のため機器の水を抜くときにはずします。
電源プラグ
電気の供給を行います。
銘　板
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者・設計上の標準使用期間・点検期間・問合せ連絡先等を表示しています。
給気口
燃焼用の空気を吸い込みます。
ガス栓
ガスの開閉を行います。
給水元栓
水道水の開閉を行います。

●リモコン表面に保護シートが貼ってある場合は、はがしてご使用ください。

給湯リモコン　MC-102

燃焼ランプ
給湯燃焼時に点灯します。

給湯設定温度・エラーコード表示部
給湯温度のめやすが表示されます。
また、機器が正常に作動しないときに
エラーコードの表示に切り替わります。



優先ランプ
優先ランプが点灯している側のリモコンで湯温調節ができます。

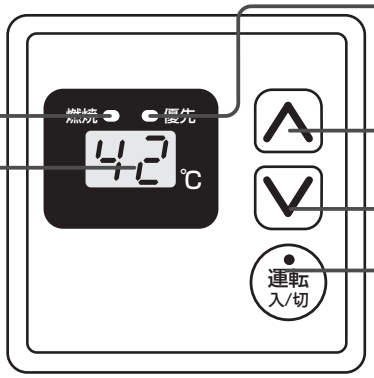
湯温設定スイッチ
給湯温度の調節をします。

運転スイッチ・運転ランプ
給湯運転するときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると運転ランプが点灯します。
使用後は押して「切」にします。

（別売）シャワーリモコン　SC-101

燃焼ランプ
給湯燃焼時に点灯します。

給湯設定温度・エラーコード表示部
給湯温度のめやすが表示されます。
また、機器が正常に作動しないときに
エラーコードの表示に切り替わります。



優先ランプ
優先ランプが点灯している側のリモコンで湯温調節ができます。

湯温調節スイッチ
給湯温度の調節をします。

運転スイッチ・運転ランプ
給湯運転するときは押して「入」にします。スイッチを「入」にすると運転ランプが点灯します。
使用後は押して「切」にします。

・・・ スイッチ音の消しかた、鳴らしかた ・・・

スイッチを押したときのピッという音は消したり、鳴らしたりすることができます。

＊お買い上げ時や再通電時は鳴るように設定されています。

操作

① 運転 入/切 **を「切」（ランプ消灯）にしておく**

② ^ **を押しながら** 運転 入/切 **を押す**

操作するたびに、鳴る・鳴らないの設定が切り替わります。操作したリモコンにのみ働きます。

必ずお守りください

【安全に正しくお使いいただくために】

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

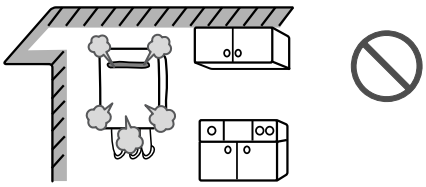
⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

⚠危険

この機器は屋外用のため絶対に屋内に設置しない

不完全燃焼を起こして危険です。

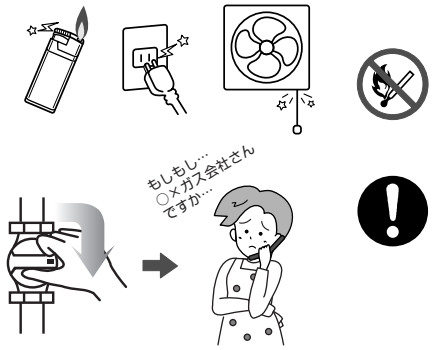


⚠警告

ガス漏れ時の使用厳禁

ガス漏れに気付いたときは、ガス事業者の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない
炎や火花で引火し火災のおそれがあります。

①すぐに使用を止め、ガス栓を閉じる。
　また、メーターのガス栓も閉じる
②お近くのガス事業者まで連絡する



⚠警告

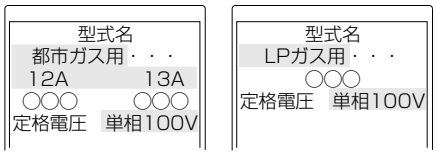
機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および使用電源（電圧・周波数）の適合を確認する

表示のガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は必ずガスの種類（電源の種類）が一致しているかどうか確認してください。

電源はAC100Vを使用する

＊わからない場合はお買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談ください。

（例）

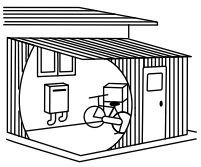


機器の設置（および付帯工事）

機器の設置・移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。

設置後、機器や排気口（給排気筒トップ）を波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどで囲わない

不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

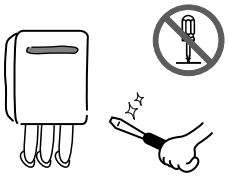


ねじ接続

この機器の接続はねじ接続です。ガス接続工事はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者に依頼してください。

絶対に改造・分解は行わない

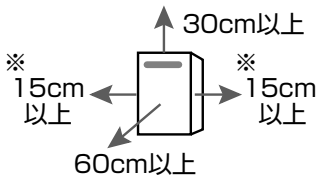
改造・分解は、一酸化炭素中毒などのおそれがあります。また、火災の原因になります。



機器および給排気筒(トップを含む）の周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かない

火災の原因になります。

【可燃物との離隔距離】



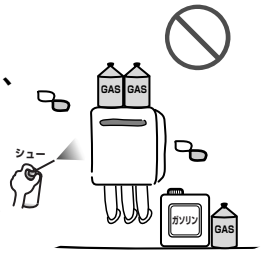
※都市ガス用13Aの場合、業務用扱いの為、側方の離隔距離は1cm以上

機器や給排気筒トップの周囲にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。

機器や給排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを置いたり使用したりしない

引火して火災、やけどのおそれがあります。



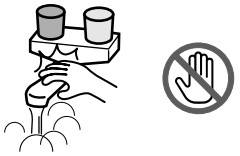
シャワーなどお湯を使う場合は、手のひらで温度を確かめて湯温が安定してから使用する

最初に熱いお湯が出ることがあるため、やけどのおそれがあります。

やけどの予防のために出初めのお湯は体にかけない

お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用し給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器の故障の際には一瞬熱いお湯が出ることがあります。

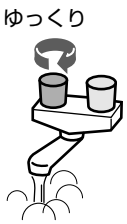
給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなるのでやけどに注意する



必ずお守りください

⚠警告

湯量を少なくするときはゆっくり、しぼりすぎないようにする



急に行ったり、しぼりすぎると熱いお湯が出ることがあります。また、消火することもあります。

熱いお湯を使用直後にぬるい温度に下げた場合、しばらく流してから使用する

配管内の熱いお湯がでてしまうまですぐにぬるいお湯にはなりませんのでやけどのおそれがあります。

熱いお湯を使用後は湯温を「低温」に戻す

シャワー、給湯使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しない

突然熱湯が出てやけどしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。

子供を浴室で遊ばせない 浴槽に潜ったりしない

思わぬ事故につながることがあります。
＊特に小さなお子さまのいる家庭では注意が必要です。

湯温を低めに設定した場合の注意

水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、このような場合は湯量を多めにし、湯温を確認してからお使いください。

機器本体やガスの接続口などに乗らない

けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

火災の原因になります。

異常時の処置

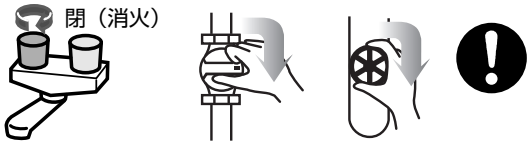
①使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる。

②「故障かな？と思ったら」に従い処置する。

③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くのパロマまで連絡する。

地震、火災などの緊急な場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓および給水元栓を閉じる。

＊再びお使いになる前に必ずお買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検を依頼してください。

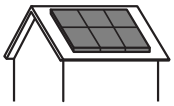


外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時など養生シートで排気口を覆う場合は機器を使用しない

不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因となります。

この機器をソーラーシステムに接続しない

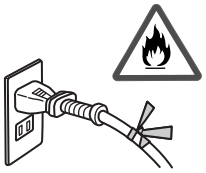
ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。



傷んだ電源プラグや電源コード、緩んだコンセントは使わない

電源プラグは根元まで完全に差し込む

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。

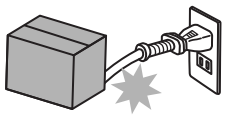


必ずお守りください

⚠警告

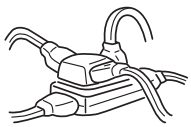
電源コードを加工したり無理な力を加えない

感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。



コンセントや配線器具、たこ足配線などで定格を超える使いかたをしない

発熱による火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない

感電のおそれがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠注意

電源コードを引っぱって電源プラグを抜かない

電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。

使用中や使用直後は機器本体、排気口とその周辺は高温になっているので、手を触れない

高温になっておりますので、やけどのおそれがあります。

この機器はアースが必要なのでアースされていることを確認する

温泉水や井戸水・地下水を使わない上水道を使用する

水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。

＊温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補修費用はお客様の負担となります。

給湯・シャワー以外の用途には使用しない

思わぬ事故の原因になることがあります。

おねがい

■リモコンを使用の場合の注意

- ●リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- ●シャワーリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- ●リモコンは分解したり乱暴に扱わないでください。

■電源について

お手入れの際、長期間使用しない場合および凍結予防のため水抜きを行う時以外は電源プラグを抜かないでください。

■飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水、調理用水としてお使いください。

おねがい

■通水使用の禁止

運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水をだしたり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、寿命が短くなります。

■雷時の注意

雷が発生し始めたらすみやかに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
（またはブレーカーを落としてください。）
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。雷が止んだ後は、電源プラグを差し込んでください。

■停電・断水のときは

停電・断水時は運転を停止しますので、給湯栓を閉めておいてください。

＊停電時に給湯栓を閉め忘れたままの状態で再通電すると、リモコンが「入」の場合は、自動的に燃焼を開始しお湯が出ます。

※断水後は配管内に空気が入っているためすぐに運転すると空だきのおそれがあります。いったんガス栓を閉めて、リモコンを「切」にした状態で給湯栓を開け、水が出るのを確認してから使用してください。

再通電後のリモコンの表示は、温度表示は前回使用時に設定の温度になっています。

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は、当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

■ガス事故防止

使用後はリモコンを「切」にして、ランプの消灯を確認してください。
長期間使用しない場合は、ガス栓も必ず閉めてください。

■排気口の周囲

排気口からの排ガスなどによって過熱されて困るもの（危険物、植物、ペット、プラスチック製のといなど）を置かないでください。

■設置状態の確認

ご使用前や日常の点検の際にご確認ください。

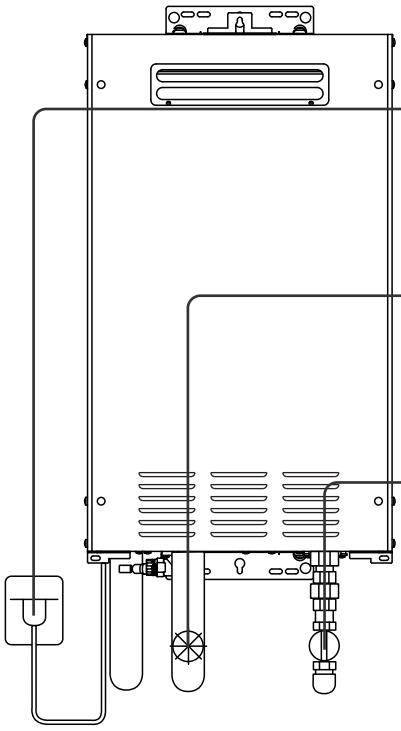
①機器は屋外に設置してある。
②機器は堅固に設置してある。
③作業に危険を伴う（ハシゴ掛け、ヤグラ組み立てなどを必要とする）場所に取り付けてない。
④機器の周囲に可燃物がない。
- ●洗濯物などの燃えやすいものがない。
- ●排気口からの排ガスにより過熱されて困るもの（危険物、植物、ペット、プラスチック製のといなど）がない。

⑤機器の排気口の近辺に窓（隣家の窓も含む）がない。
⑥近隣の家に迷惑にならない場所に設置してある。
⑦機器にはガス栓・給水元栓が取り付けてある。
⑧凍結予防のため、給水・給湯配管に保温材を巻く等の措置がしてある。
⑨機器を波板などで囲んでいない。（4ページ参照）

＊以上の設置に関し、ご不明な場合は、施行業者までお問い合わせください。

長年のご使用で危険な使用環境にならないように上記の点に配慮していただき、安全にご使用ください。

準備と確認



電源プラグをコンセントに
差し込んでください

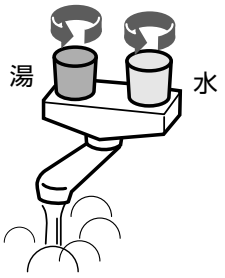
給水元栓を全開にしてください
つまみは左に止まるまで回し、
必ず全開で使用してください。

ガス栓を全開にしてください
必ず全開で使用してください。

＊電源（AC100V）を入れた直後（約20～30秒間）は安全のための初期動作確認を行っていますので運転しません。しばらく待ってから操作してください。

お湯の出しかた（リモコンがない場合）

給湯栓を開けると約60℃のお湯が出ますので水を混ぜながらお使いください。



①混合水栓を水側・お湯側の順で開ける
②混合水栓でお好みの湯温に調節する
③混合水栓をお湯側・水側の順で閉める

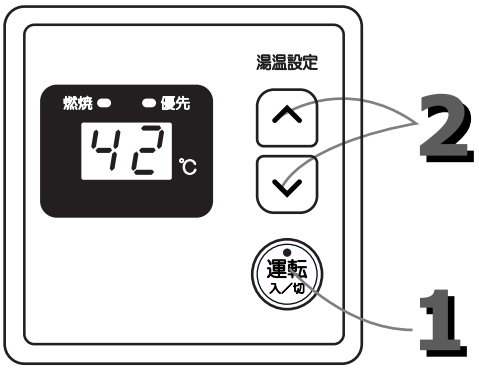
お湯の温度は、通常60℃に設定されていますが、42℃、75℃またはさらに高温に変更することもできます。ご希望があれば、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでお問い合わせください。

⚠警告

開けるときは水側（たっぷり）・お湯側（少しずつ）、閉めるときはお湯側・水側の順に行う
→お湯側だけを開けると高温のお湯が出るので、やけどのおそれがあります。

リモコンがある場合のお湯の出

給湯リモコンでお湯の出しかたを紹介しますが、
シャワーリモコンも同じ操作方法です。



1 「運転」スイッチを押す

前回設定の温度

⚠警告

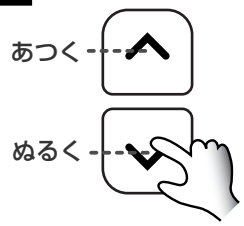
おふろでお湯を使うときは、必ずシャワーリモコンの運転スイッチを押して優先にする
→優先にしないと給湯リモコンで勝手に温度を変えられてやけどのおそれがあります。

知っておいてね

●初めてお使いになる時などはガス配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。
（給湯栓の開閉操作を2～3回くり返してください。）
●給湯栓を絞りすぎると消火します。（給湯栓をもっと開けてご使用ください。）
●２箇所以上で同時にお湯を使用したり、断続的に使用すると湯量、温度が不安定になることがあります。
●リモコンを「切」にするときは、「運転」スイッチを3秒以上押し続けるともう一方のリモコンも「切」となります。
●前回使用時に60℃以上に設定した場合は、安全のため次に運転スイッチを「入」にしたとき、またはシャワーリモコン優先使用後は60℃へ切り替わっています。
●水温が高い場合は、リモコンの給湯温度よりも熱いお湯が出ることがあります。

しかた

2 温度を調節する



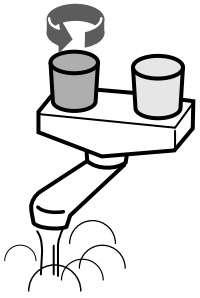
- 38℃～45℃までは押し続けると連続して変わります。それ以降は1回押すごとに46、47、48、50、60、70、75℃と変わります。
- 60℃、70℃、75℃設定時はピピピッと鳴って高温注意をお知らせします。
- 設定を記憶します。

優先表示確認

調節後の温度

3 給湯栓を開ける

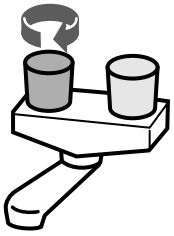
開く



燃焼確認ランプ点灯

4 給湯栓を閉める

閉める



燃焼確認ランプ消灯

温度のめやす

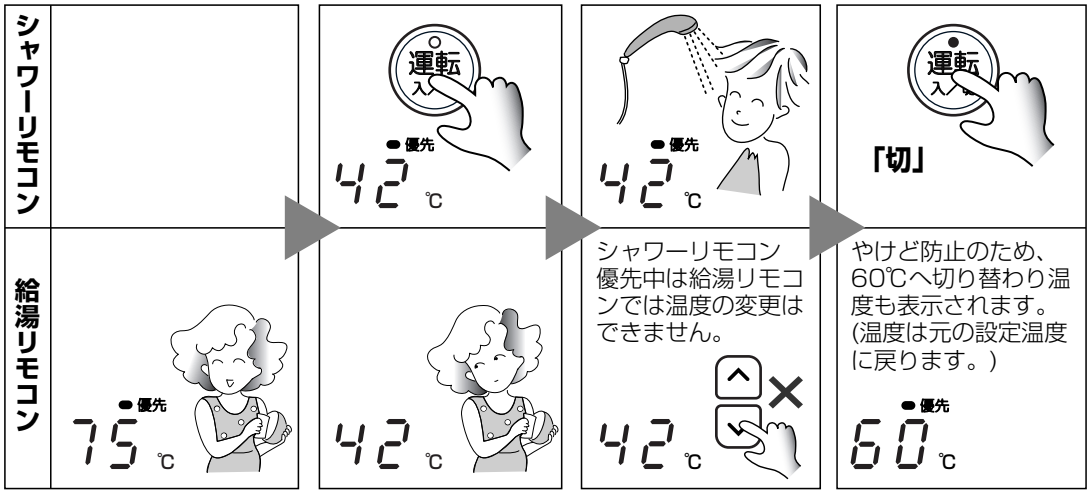
38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	50	60	70	75
ややぬるめ			適温			ややあつめ				あつい				

＊ご希望によりさらに高温に設定することもできます。
お買い上げの販売店かお近くのパロマまでお問い合わせください。

★表示の温度と実際の温度は設置条件（季節・配管長さ等）により必ずしも一致しません。表示の温度はめやすとしてください。

シャワーリモコンが優先のおはなし

おふろではいつも快適な入浴が楽しめるように、シャワーリモコン優先中は給湯リモコンでは勝手に温度が変えられないしくみになっています。



点検とお手入れ

おねがい

●機器を安全・快適にお使いいただくために日常の点検・お手入れは必ず行ってください。そのときは、機器本体とリモコンのスイッチを「切」にし、ガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
●故障または破損したと思われるものは使用しないでください。
●「故障かな？と思ったら」を参照していただき、処置に困る場合はお買い上げの販売店にご相談ください。お客様自身での修理は絶対にしないでください。
●お手入れの際、指先には十分注意してください。

点検のポイント

＊点検は常時行ってください。

●機器のまわりや排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
●機器や配管からのガス漏れ・水漏れはありませんか？
●外観に異常はありませんか？
●運転中に異常音はありませんか？
●給気口・排気口をふさいでいませんか？

不完全燃焼や異常過熱の原因になります。排気口・給気口をふさがないでください。排気口・給気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口・給気口がふさがれ、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には排気口・給気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が排気口・給気口をふさぐおそれのある場合は最寄りの施行業者などに連絡し、設置場所を変更する必要があります。

お手入れ

おねがい

●機器本体をたわしやブラシなどでこすらないでください。
●中性洗剤以外の洗剤、シンナー、ベンジン、みがき粉、スチールウールなどは使用しないでください。表面がキズつきます。また、レンジクリーナーなどのアルカリ性洗剤は塗装がはがれるおそれがあります。
●機器外装のお手入れの際、銘板と本体表示をはがさないでください。
●リモコンに水（湯）を直接かけて洗わないでください。
●点検・お手入れ後は、給湯栓を開け機器が正常に作動するかどうか確認してください。

機器外装・リモコン

水気をしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で洗剤分と水気を十分ふき取る

①水気をしぼった布に台所用中性洗剤を含ませ、

②軽くふき、

③乾いた布で洗剤分と水気を十分ふきとります。

定期点検のおすすめ

機器のご使用に支障がなくても、1年に1度程度（使用頻度の高い場合には1年に2回程度）にバーナや各部の作動が“正常”かどうか点検をするのが安全で長期間使用していただくための“ひけつ”です。お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談のうえお申しつけください。（有料）

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、リモコンにエラーコードが表示されていないか確認します。
給湯栓は開いたままにしておきます。
（リモコンを使用していない場合は、13ページをご参照ください。）

（例）エラーコード

エラーコードが表示されたら

1.給湯栓を閉め、全てのリモコンを「切」にする。
　5分程待ってから、再び、リモコンの運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開ける。
2.それでもなおエラーコードが表示される場合、
　●下記以外のエラーコードが表示される場合は3へ
　●下記のエラーコードが表示される場合は、給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「切」にする。
　　下記の処置をした後、再使用する。それでもエラーコードが表示される場合は3へ
3.給湯栓を閉め、リモコンの運転スイッチを「切」にし、ガス栓、給水元栓を閉めた後、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検・修理を依頼する。
　このとき作業を円滑に行うため、エラーコードの表示をお知らせください。

エラーコード	原　　因	処　　置
11	ガス栓の開きが不十分	ガス栓を全開にする
12	LPガスがなくなりかけている （LPガス使用の場合）	ボンベを交換する
15	給湯栓を絞りすぎている	給湯栓をたくさん開けて湯量を増やす
16	水抜き後の再使用時の順番が違っている	15ページ「水抜き後の使いかた」参照
リモコンのみ表示 **10** **燃焼開始時に「ピッ・ピッ・ピッ」とブザーが鳴ります。**	機器の給気口をふさいでいる	機器の給気口をふさいでいるものを取り除く
99	修理が必要ですのでお買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。	

エラーコードは「11」「12」等の2桁の数字と「-0」「C2」等の記号が交互に表示されます。

故障かな？と思ったら

エラーが表示されていない場合

エラーが表示されていない場合は、下記の症状に応じた処置を行ってください。
下記のことをお調べになってもなお不具合のある場合やおわかりにならない場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでお問い合わせください。

現　象	原因と処置
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス栓が全開になっていない ●LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている（ボンベを交換してください。） ●給水元栓が十分開いていない ●給湯栓をしぼりすぎている（流水量が少なくなると消火します。） ●凍結している（14ページ参照） ●リモコン使用の場合、運転スイッチが「入」になっていない ●断水・停電している。または電源プラグが抜けている ●使い始めは給湯管内の冷水を追い出すまでしばらくお湯が出てくるまでに時間がかかることがあります。 ●機器から給湯栓までの距離が長いと、お湯が出てくるまでに時間がかかることがあります。
途中で水になる	●ガス栓が全開になっていない ●給水元栓が十分開いていない ●停電している、または電源プラグが抜けている ●給湯栓をしぼりすぎている（流水量が少なくなると消火します。）
高温のお湯が出ない	●ガス栓が全開になっていない ●湯温調節が適切でない ●給湯栓が全開になっている ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。
低温のお湯が出ない	●湯温調節が適切でない ●給水元栓が十分開いていない ●2ケ所以上で同時にお湯を使用したり断続的に使用すると、湯量・湯温が不安定になることがあります。 ●水温が高い夏期などに少量お湯を得ようとすると、湯温が高くなることがあります。給湯栓をもっと開けて湯量を多くすれば、湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることによって細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡とにた現象であり、汚濁とは違い無害です。
水抜き栓兼安全弁からときどき水滴が落ちる	●機器内に高い圧力が生じた場合、安全弁の働きにより、水抜き栓からときどき水が落ちることがありますが水漏れではありません。 （機器下面がぬれて困るようなときは、ビニールホース等で支障のないところへ排水してください。なお、ホースは中に水が溜まらないように取り付けてください。）
排気口から白い煙のようなものが出る	●外気温が低いときに、排気ガス中の水蒸気が白く見えますが故障ではありません。
給湯停止後もファンが回転している	●再使用時にお湯を早く出すためです。しばらくすると停止します。

凍結を防ぐには

冬期には給水、給湯配管が凍結し、破損事故がおこることがあります。
このような事故を防止するため、次のような処置をおとりください。

① 凍結予防ヒータによる方法

この機器には、凍結予防ヒータが組み込まれていますので、
機器本体に電気が供給されている限り、無風状態でマイナス20℃
程度まで機器内の凍結を予防できます。
外気温が下がると凍結予防ヒータが自動的に機器内を保温します。

凍結予防のため、電源プラグは抜かないでください。

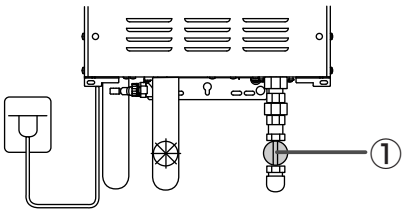
おねがい

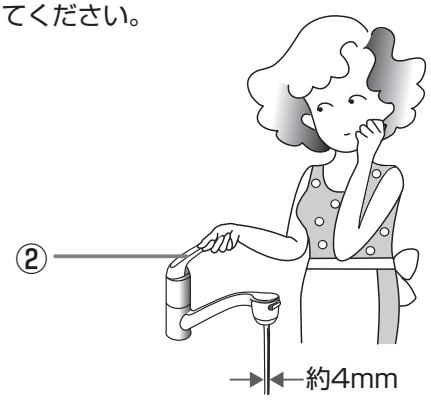
- 機器内は保温しますが、配管・バルブ類の凍結予防はできませんので配管の水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。
- 凍結予防ヒータが有効なのは無風状態で外気温マイナス20℃程度までですので、**気象状況により「②通水による方法」「③機器内の水を抜く方法」で凍結による破損防止の処置を行ってください。**

② 通水による方法

機器本体だけでなく、給水・給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

リモコンがある場合はリモコンの運転スイッチを「切」にしておいてください。
①ガス栓を閉めます。
②給湯栓を少し開けておきます。
　流量が不安定になるため、30分後にもう一度流量を確認してください。





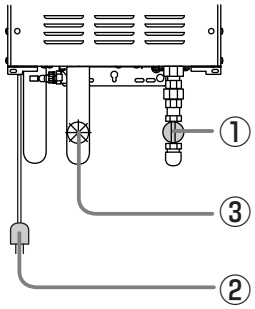
おねがい

寒い日は多めに水を流してください。

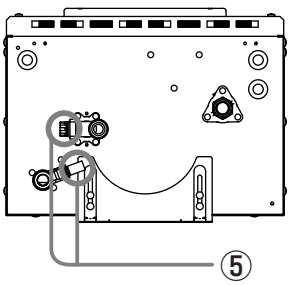
凍結を防ぐには

③ 機器内の水を抜く方法

リモコンがある場合はリモコンの運転スイッチを「切」にしておいてください。
①ガス栓を閉めます。
②電源プラグを抜きます。
③給水元栓を閉めます。（不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にします。）
④全ての給湯栓を開けます。
⑤水抜き栓（2ケ所）をはずします。
再使用するまでこのままにしておきます。



【機器を下から見た図】



水抜き後の使いかた

①水抜き栓（2ケ所）を閉めます。
②給水元栓（または不凍栓）を開け、給湯栓から水が出るのを確かめてから、いったん水を止めます。
　水が出ない場合は、電源プラグを差し込み、約30分後にもう一度②の操作を繰り返してください。
③8ページの「準備と確認」から始めます。

＊再使用時にまず、上記の操作を行わないとエラーになる場合があります。

おねがい

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

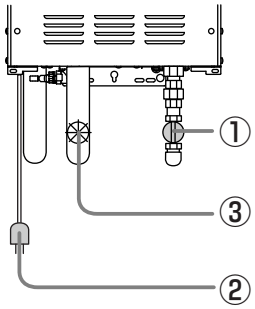
凍結したときは

●凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
●凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してから、お使いください。
●凍結防止せずに凍結して、機器を損傷されたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

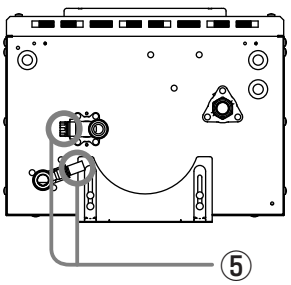
凍結を防ぐには

③ 機器内の水を抜く方法

リモコンがある場合はリモコンの運転スイッチを「切」にしておいてください。
①ガス栓を閉めます。
②電源プラグを抜きます。
③給水元栓を閉めます。（不凍栓使用時は不凍栓を閉め、給水元栓を全開にします。）
④全ての給湯栓を開けます。
⑤水抜き栓（2ケ所）をはずします。
再使用するまでこのままにしておきます。



【機器を下から見た図】



水抜き後の使いかた

①水抜き栓（2ケ所）を閉めます。
②給水元栓（または不凍栓）を開け、給湯栓から水が出るのを確かめてから、いったん水を止めます。
　水が出ない場合は、電源プラグを差し込み、約30分後にもう一度②の操作を繰り返してください。
③8ページの「準備と確認」から始めます。

＊再使用時にまず、上記の操作を行わないとエラーになる場合があります。

おねがい

配管・バルブ類の凍結予防はできませんので、配管は水入口、湯出口まで保温材でおおうなどして凍結予防してください。

凍結したときは

●凍結すると、機器の破損・異常を起こし、水漏れや空だきなどのおそれがあります。
●凍結したときは、とけるのを待ち、水漏れや作動に異常がないかを確認してから、お使いください。
●凍結防止せずに凍結して、機器を損傷されたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担となります。

仕　様

＊本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

品名		PH-32BLX-M
器具名		PH-32BLX-M(80)
型式名		J-1-1
接続	給湯・給水	R3／4（20A）
	ガス	R3／4（20A）
電源	使用電源	AC100V（50Hz/60Hz）
	消費電力	下表「消費電力」欄参照（凍結防止ヒータ・・・107W）
	電源コード長さ	1.5m
種類別	給湯方式	先止め式
	給排気方式	屋外用
設置方式		屋外壁掛式
本体（器体）寸法		高さ645×幅380×奥行293mm
質量（本体）		25.0kg
点火方式		放電点火式
給湯温度制御		比例制御
最低作動水量		2.5L/分
使用水圧		80～1000kPa(0.8～10.0kg/cm^2)
最低作動水圧		10kPa(0.1kg/cm^2)
安全装置		フレームロッド式立消え安全装置・過電流安全装置(電流ヒューズ)・過熱防止安全装置・空焚き過熱防止安全装置・自己診断機能・熱交換器過熱防止安全装置・ファン回転数検出装置・凍結防止装置(電気ヒータ)

使用ガス（ガスグループ）		型式名	器具名	ガス消費量 kW	出湯量（最大）ℓ /分			消費電力 (50Hz/60Hz)
					25℃上昇	40℃上昇	55℃上昇	
ガス用 都市	13A	J-1-1	PH-32BLX-M(80)	70.1	(32.0)	20.0	14.5	83W
LPガス用				68.5	(32.0)	20.0	14.5	77W

＊出湯量の（　　）内の数値は、混合水栓で湯水を混合させた場合の計算値です。

保管とアフターサービス

保管（長期間使用しないとき）

水を抜きます。(「凍結を防ぐには」参照)

アフターサービスについて

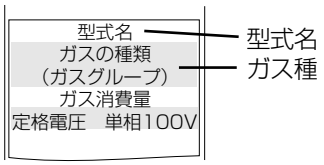
点検・修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

なお、修理のご依頼は、【電話】0120-193-860 でも24時間受付いたしますので、ご利用ください。

☆アフターサービスをお申しつけのときはお知らせください。

- **ご住所・ご氏名・電話番号**
- **現象(できるだけ詳しく…エラーコード等)**
- **器具名(銘板表示のもの)**
- **ご購入日・ガス種**
- **道順**



ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスコールセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスコールセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
関　東サービスコールセンター	〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-1-6藤枝ビル6F	03-3986-0860	03-3986-0895
中日本サービスコールセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5188	052-824-5670
近　畿サービスコールセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2F	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスコールセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスコールセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南２-９-１３	092-472-0924	092-471-8400
受付時間	平日　9：00～18：30 土曜日・日曜日・祝日　9：00～17：00（修理受付のみ）		

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

補修用性能部品の保有期間について

補修用性能部品は製造打ち切り後7年間保有しております。
長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。
銘板の読みかたは、
［例］08（製造年）・03（製造月）-123456（製造番号）です。

その他ご不明の点は

お買い上げの販売店かお近くのパロマまたは「お客様相談室」までご連絡ください。

パロマお客様相談室	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	TEL 052-824-5145

保 証 書

品　名	PH-32BLX-M　　ガス瞬間給湯器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書､本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には､お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は､お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ､本書をご提示ください｡なお､離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください｡
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には､お近くのパロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動 (取付工事依頼の必要な機器の場合)､落下等による故障および損傷
   (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
   (ニ) 車輌、船舶への搭載等に使用された場合の故障および損傷
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
   (ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので､紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　様	お買い上げ日	年　　月　　日
	ご住所　〒		
	お電話		
販売店	店名	保証期間	お買い上げ日から1年間
	住所		
	電話番号		

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052 (824) 5145

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。

＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

Paloma

22. 3. ③ 31 82128